

市民の積極的、自主的な文化活動の一層の促進と機会の充実を図るため、現代の文化・芸術の振興に資する事業、伝統的な文化を普及する事業、名古屋市文化施設の管理運営などを行い、もって個性豊かな魅力ある市民文化の創造に寄与する。

### 1 文化施設等を活用して、市民が文化芸術に触れる機会と場を提供する事業

文化芸術の振興を図るため、名古屋市から指定管理者として受託している文化施設等を活用して、様々な分野の文化芸術に関する体験事業や鑑賞事業を実施することで、市民が文化芸術に触れる機会と場を安定的に確保、提供し、豊かで充実した生活の実現に寄与する。

#### 参加・体験事業

##### (1) 文芸作品募集事業 (補助金事業 予算額 2,000千円)

###### 1 子どものための文芸コンクール「書こう! きみの物語」

小中学生を対象に童話、児童文学、小説の創作作品を公募し、優秀作品に賞を授与するとともに、ウェブサイトで公開する。

作品募集期間/2024年7月~9月 選考/文芸関係者

###### 2 コトノハなごや

名古屋にまつわる写真から想起される短編の創作作品を公募し、優秀作品に賞を授与するとともに、ウェブサイトで公開する。あわせて、選考委員が受賞作品の講評や文芸の魅力語る関連イベント「コトノハなごやサロン」を開催する。

作品募集期間/2024年7月~8月 選考/文芸関係者 コトノハなごやサロン/2025年1月

##### (2) 学生参加事業 (補助金事業 予算額 2,800千円)

###### NAGOYA GROOVIN SUMMER 2024

学生の文化芸術活動を支援するため、学生参加型の事業を企画する。今回は、地元で活動する中高生のジャズビッグバンドが多数出演する音楽イベントを開催。

日程/2024年8月10日(土)~11日(日)〈4回〉 会場/芸術創造センター

出演/ゲストアーティスト、日本学校ジャズ教育協会(JAJE)中部支部所属の学生団体

##### (3) 子どもアートランド (補助金事業 予算額8,175千円)

「子どもアート万博」「子どもアートピア」に続く、地域と連携した子ども向け参加体験イベントを実施する。今回は、守山文化小劇場を中心に、金城学院大学等と連携し、音楽をテーマにした公演やワークショップを通じて、子どもたちが文化芸術に興味を持つきっかけをつくる。

日程/2025年3月15日(土)~16日(日) 会場/守山文化小劇場、守山区役所講堂等

出演/中部フィルハーモニー交響楽団、金城学院大学ハンドベルクワイア 他

##### (4) 子ども美術展 (自主財源事業 予算額 800千円)

###### 子ども名画展~なごやのまち~

名古屋市内の名所やランドマーク施設などで開催されている子ども向け絵画コンクール(写生大会)の優秀作品を、名古屋の中心地に位置する市民ギャラリー栄に集めて再展示する。

日程/2025年1月7日(火)~12日(日) 会場/市民ギャラリー栄

出品予定施設/名古屋港、農業文化園・戸田川緑地、東谷山フルーツパーク、鶴舞公園  
名古屋市科学館 他

#### 鑑賞事業

##### (1) なごや子どものための巡回劇場 (補助金事業 予算額 9,000千円)

演劇、人形劇、音楽劇、管弦楽、バレエ等の公演を、子どもたちに身近な会場(文化小劇場など)で開催する。

時期/夏休み、春休みなど小学校等の休日における昼間。

公演回数/32公演

出演/名古屋フィルハーモニー交響楽団 はじめ6団体 共催/名古屋市

**(2) 子どもに贈る文化芸術体験提供事業** こんにちは！子どもTouch【新規】  
(補助金事業 予算額 9,250千円)

養護施設や母子生活支援施設など、諸事情で劇場に足を運ぶことが困難な子どもたちに文化芸術を届けるアウトリーチ事業を開催する。  
時期/アウトリーチ先と調整のうえ、夏休み時期から実施。  
会場/名古屋市内の児童養護施設、母子生活支援施設、小児病棟、子ども食堂等。  
実施回数/40回  
出演/名古屋地域の児童劇団、人形劇団、管弦楽団団員等の文化芸術関係者。

**(3) 市民のための芸術鑑賞会** (自主財源事業 予算額 9,455千円)

大中規模ホールを会場に、優れた舞台芸術を鑑賞していただく公演を開催する。

**1 桂文枝 春風亭小朝 東西落語名人会**

日程/2024年5月15日(水)〈1回〉 会場/Niterra日本特殊陶業市民会館ビレッジホール

**2 人形浄瑠璃「文楽」**

日程/2024年10月13日(日)〈2回〉 会場/Niterra日本特殊陶業市民会館ビレッジホール

**(4) 市民半額鑑賞会** (自主財源事業 予算額 1,220千円)

日本演劇興行協会加盟ホールである御園座の公演を半額で市民に提供する。  
年間に3回程度実施し、約2,000枚を提供。

**友の会事業** (自主財源事業 予算額7,883千円)

- 1 会員向けの落語会等を開催する。
- 2 催し物情報等を掲載した情報誌「友の会だより」を発行する。
- 3 事業団主催事業などの会員向け先行予約や割引を実施する。

**2 表彰等の実施、活動の場の提供及び相談助言を通じて、芸術家及び文化芸術団体等の創造活動を支援する事業**

文化芸術活動のうち創作や発表といった創造的な活動を行う環境を整備するため、文化芸術を支える芸術家及び文化芸術団体等を対象として、表彰・コンクールを実施するほか、活動の場を提供したり、相談に応じることを通じて、創造的な文化芸術活動を支援することにより、文化芸術の振興に寄与する。

**(1) 総合舞台芸術公演** (補助金事業 予算額 34,659千円)

**名古屋市文化振興事業団2025年企画公演ミュージカル「オズの魔法使い」**

『虹の彼方に』などのミュージカルナンバーで知られるブロードウェイミュージカルの名作「オズの魔法使い」を、若手の舞台芸術関係者を中心としたスタッフ・キャストで制作・上演する。

日程/2025年2月14日(金)~16日(日)〈6回〉 会場/青少年文化センター

上演台本・訳詞・演出/横山清崇 音楽監督・指揮/石崎真弥奈

管弦楽/エメラルドシティ管弦楽団(当公演のために若手中心に特別に編成するオーケストラ)

出演者/オーディションで決定

支援事業/「オズの魔法使い」支援プロジェクトとして、オーディション不合格者の活動の場、セルフマネジメントを学習する場として、アウトリーチコンサートへの出演やフロントスタッフを依頼する。

**(2) 企画コンペティションによる美術展** ファン・デ・ナゴヤ美術展 2025  
(補助金事業 予算額 2,600千円)

次世代を担う企画者・美術家からのアイデアを公募し、コンペティションによる選考を経て、文化芸術の新たな発信源となるような意欲的な美術展を開催する。なお、会場監視員を芸術大学の学生に依頼するなど、若い世代のセルフマネジメントにつながる実践の場として活用する。

日程/2025年1月10日(金)~19日(日) 会場/市民ギャラリー矢田

**(3) 舞台芸術創造事業** (補助金事業 予算額 2,772千円)

**ONE FOCUS ～佃 典彦 ひとり芝居の競演～**

名古屋文化振興賞・戯曲部門最初の入選作であるひとり芝居「審判～ホロ苦きはキャラメルのみ～」(作/佃 典彦)の初となる本人出演のほか、実力が試されるひとり芝居に実力派俳優が挑む。関連事業として、大学演劇部の学生を交えたトークセッションを開催する。

日程/2025年1月25日(土)～26日(日)〈本番2回、トークセッション2回〉 会場/東文化小劇場  
出演/佃 典彦、おぐりまさこ、荘加真美 演出/八代将弥、関戸哲也、はせひろいち

**(4) 名古屋市民芸術祭 2024** (補助金事業 予算額 5,700千円)

総合的な芸術の祭典として、2024年10月～11月に名古屋市民芸術祭2024を開催する。

**1 主催事業**

①名古屋いけばな芸術展2024

日程/2024年10月22日(火)～27日(日) 会場/市民ギャラリー栄

②名古屋市民美術展

日程/2024年11月19日(火)～24日(日) 会場/市民ギャラリー栄

**2 参加事業**

コンペティションとして20公演が参加。

賞/名古屋市民芸術祭賞、名古屋市民芸術祭特別賞

**(5) 歴史文化普及啓発事業 やっとかめ文化祭DOORS** (実行委員会形式)

(負担金事業 予算額17,264千円)

歴史的建造物や文化資産を活用する名古屋独自の歴史文化のイベント「やっとかめ文化祭DOORS」(2024年10月26日(土)～11月17日(日))のうち、名古屋の優れた伝統芸能を紹介する「まちなか芸披露」として、舞台公演を制作する「舞台鑑賞事業」2公演と、まちなかで気軽に伝統芸能に触れていただく「まちなか鑑賞事業」及び「体験事業」を実施する。

**1 まちなか芸披露・舞台鑑賞事業**

①新作能楽「草薙神剣～KUSANAGI SWORD Sacred Treasure～」

日程/2024年11月2日(土)〈1回〉 会場/名古屋能楽堂

草薙神剣が名古屋に祀られているという史実・伝承から新作の能を創作する。

名古屋市内の小学生が謡を体験し発表するとともに、若い世代が創作狂言に参加するなど、次世代が能楽に触れるプログラムも実施する。

②女流噺家による話芸公演(仮)

日程/2024年11月9日(土)〈1回〉 会場/昭和 cultura 小劇場

落語や講談などに馴染みのない若い世代をターゲットとした女流噺家による話芸公演を実施。

**2 まちなか芸披露・まちなか鑑賞事業及び体験事業**

辻狂言、ストリート歌舞伎、お座敷ライブなど、伝統芸能のプログラムを実施。

日程/開催期間中

会場/まちなか(名古屋・栄など)、料亭、寺社など。

**(6) ナゴヤ・パフォーマー事業 Nagoya POP UP ARTIST** (実行委員会形式)

(負担金事業 予算額 1,400千円)

アーティストの活動支援とまちの賑わいづくりに貢献するため、公募によるオーディションで、地下鉄駅や商業施設等で自由にパフォーマンスができるライセンスを合格者に発行する。

日程/通年 会場/市内15施設

認定アーティスト数/累計176組 ライセンス期間/1年

**(7) イベント開催等支援事業** (自主財源事業 予算額 5,497千円)

**1 イベント開催支援**

イベントの開催を検討している主催者に、企画から実施に至るまでの開催支援を行うとともに、地元で活躍するアーティストの発表の場としての機会を創出する。

受注目標/6件程度

**2 名古屋市文化振興事業団チケットガイドの運営**

事業団が管理する23施設をオンラインでつなぐチケット販売システムを活用し、地元の文化芸術をサポートするチケットガイドを運営する。

販売枚数/40,000枚程度

**3 文化芸術に関する相談窓口**

各種助成金、サークル・団体紹介、公演やイベントに関する相談など、文化芸術に関する相談窓口をチケットガイドに設ける。

相談件数/250件程度

**(8) 名古屋市文化振興事業団芸術創造賞** (自主財源事業 予算額 868千円)

前年度における芸術創造活動が特に顕著で、名古屋市域の文化芸術の向上と発展に寄与し、今後とも活躍が期待できる個人(団体)を選考し、芸術創造賞を授与する。

選考会/2024年6月 授賞件数/2件 授賞式/2024年8月

**(9) 名古屋市文化振興事業団演劇賞** (自主財源事業 予算額500千円)

**名古屋女性演劇賞の授与**

2018年6月にご逝去された故江崎順子氏(劇団・夏蝶)のご遺族からの寄付金をもとに、故人の演劇分野の振興に対する情熱を後世に受け継ぐことを目的として、名古屋市域の演劇の振興に寄与し、今後とも活躍が期待できる女性演劇関係者(個人)を選考し、名古屋女性演劇賞を授与する。

選考会/2025年1月 授賞件数/1件 授賞式/2025年3月

**(10) 実演家インターンシップ** (自主財源事業 予算額 890千円)

「芸どころ名古屋」を支える次世代の人材を育成するため、伝統芸能をはじめとする文化芸術の世界に進みたい学生等が、プロの実演家が開設する稽古場での指導を体験するインターンシップ型事業を実施する。あわせて、興味や関心のある学生等を対象に、体験型ワークショップを開催する。

**1 インターンシップ型**

能楽や邦楽等で8回程度。マンツーマンレッスンを基本とする。

**2 体験型**

能楽等の体験型ワークショップを1回程度実施。

**3 文化芸術に関する情報を収集し、市民に提供する事業**

文化芸術の活性化を図るため、市内を中心として活動する芸術家及び文化芸術団体等の創造活動の状況の調査及び資料収集を行い、それらの情報を情報誌の発行やウェブサイトの運営等の様々なかたちで広く発信することを通して、文化芸術に関する情報を広く市民に提供することにより、市内の文化芸術の活性化を図る。

**(1) 文化情報誌の発行**(補助金事業 予算額 2,604千円)

「なごや文化情報」(12ページ)を発行し、名古屋市域における舞台芸術、美術、文学、生活文化等の活動に関する情報を市民に提供する。

発行部数/8,000部

発行回数/4回(季刊)

**(2) 文化情報ひろばの運営**(補助金事業 予算額 6,212千円)

市内及び近郊で開催される公演や美術展のチラシの配架、ポスター掲出、CINEMAPORTでの映画情報の提供、文化芸術関係の図書の見覧コーナーを設けるなど、ナディアパーク7F文化情報ひろばを運営する。

**(3) 「きみのあした」外国語字幕つきウェブ配信【新規】**(自主財源事業 予算額 3,000千円)

事業団設立40周年を記念して令和5年度に上演したオリジナルミュージカル「きみのあした」の動画に、中国語、英語、ベトナム語の3か国語の字幕をつけて無料配信するとともに、翻訳したデジタルパンフレットをダウンロードできるようにする。

## 4 文化活動拠点づくりのための文化事業

市民の文化芸術の活動の場として提供し、併せて施設及び地域の特性を生かした文化事業を行う。

### (1) 施設管理

名古屋市から指定管理者として受託した名古屋市芸術創造センター、名古屋市青少年文化センター、名古屋能楽堂、名古屋市文化小劇場15館（中村・南・西・港・天白・名東・守山・北・緑・東・熱田・千種・中川・瑞穂・昭和）、名古屋市民ギャラリー2館（栄・矢田）、名古屋市演劇練習館、名古屋市東山荘及び名古屋市上社レクリエーションルーム、合計23施設の管理運営を行う。

※青少年文化センター（ホール・リハーサル室・研修室）は、2024年8月31日まで休館中。名古屋能楽堂は2024年4月1日～10月31日、芸術創造センターは2024年9月2日～12月28日、港文化小劇場は2024年6月1日～8月31日、名東文化小劇場は2月2日～2月21日、守山文化小劇場は10月14日～10月21日、緑文化小劇場は9月1日～11月30日、工事のため休館予定。

### (2) 施設事業

上記の23施設において、約400事業を実施する予定。主な事業は下記の通り。

主な事業

#### 1 未来の鑑賞者育成事業

公益還元事業として、市内の小学4年生を対象に生の文化芸術にふれる機会を提供し、次世代の鑑賞者を育てることを目的としてクラシック音楽の体験型レクチャーコンサートを実施する。

開催時期／6月 13公演予定

会場 / 文化小劇場7館（西・名東・北・緑・東・熱田・昭和）文化小劇場

参加者 / 名古屋市内の小学4年生

#### 2 0・1・2シアター

乳幼児（主に0～2歳児）の子を持つ保護者の方が、子どもと一緒に音楽やお芝居などの生の舞台芸術に触れて楽しんでいただく公演。

授乳室・おむつ替えベッド・ベビーカー置き場の設置や、チケットのウェブ予約・当日窓口精算（キャンセル可）などのサポートを実施。

会場／文化小劇場15館 公演数／18公演

#### 3 劇場パートナー等の運営

各文化小劇場において、文化芸術活動の促進と地域コミュニティの形成による地域課題の解決を目的に、子どもから高齢者までが参加する様々なジャンルの実演団体を運営する。

中村文化小劇場

劇団 座・なかむら（演劇）

南文化小劇場

みなみシニア吹奏楽団（吹奏楽）

西文化小劇場

西文化小劇場オペラ合唱団（オペラ合唱）

港文化小劇場

みんなとみなとコーラス（合唱）

天白文化小劇場

劇団 天白月夜（演劇）

名東文化小劇場

めいとうママ楽団オハナ（吹奏楽）

守山文化小劇場

もりっこ彩合唱団（合唱）

北文化小劇場

The Polar Star Jazz Orchestra（ジャズ）

緑文化小劇場

劇団みどり（演劇）

熱田文化小劇場

オペラ歌唱塾（オペラ）

千種文化小劇場

Chikusa Round Voices（ゴスペル）

中川文化小劇場

合唱団クローバー（合唱）

瑞穂文化小劇場

子どもオペラ劇団 瑞穂コペレッタ（オペレッタ）

昭和 culture 小劇場

子どもミュージカル劇団 show-Wa!（ミュージカル）、

名古屋昭和交響楽団（オーケストラ）

市民ギャラリー矢田

ギャラリーパートナー「PLABO」（プラモデル）

#### 4 スマイルギフト

文化芸術の力を活用して地域の課題を解決することを目的として、ひとり親家庭など経済的支援を必要としている子どもたちを劇場に招待し、公演鑑賞の機会をプレゼントする。

会場／名古屋市芸術創造センター始め17施設

参加対象／ひとり親家庭の親子、支援施設の子どもたち

連携先／母子生活支援施設、児童養護施設、乳児院など